

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 水戸市農政推進協議会
- 2 開催日時 平成27年2月20日（金） 午後3時30分から4時30分まで
- 3 開催場所 議会臨時庁舎 2階 第2委員会室
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員 八木岡 努, 高倉 富士男, 栗原 文隆, 渡辺 隆文, 市村 正司, 小森 隆太郎, 高安 實, 深谷 泉, 郡司 光男, 渡辺 秀夫, 園原 宗憲, 立原 昇, 雨谷 克己, 木村 宗敬, 吉沢 清子, 谷萩 八重子
 - (2) 執行機関 飯村 健一, 吉川 茂重, 綿引 正治, 大峰 正美, 深澤 和広, 後藤 俊之, 羽方 寿秀, 三好 正高
- 5 議題及び公開・非公開の別
「水戸市農業基本計画（第4次）」について（公開）
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数 0人
- 8 会議資料の名称
水戸市農業基本計画（第4次）答申案
- 9 発言の内容

執行機関 大変お待たせいたしました。ただ今から水戸市農政推進協議会を始めさせていただきます。初めに、当協議会会長より御挨拶を頂きたいと存じます。

（ 挨 拶 ）

執行機関 次に会議に移りますが、水戸市農政推進協議会条例第6条第1項の規定に「会長は会議の議長となる」とございますので、ここからの進行は会長にお願いいたします。

会 長 それでは、本日の出席状況につきまして、事務局より報告願います。

執行機関 本協議会は水戸市農政推進協議会条例第6条第2項の規定により、「委員の2分の1以上の出席がなければ開くことができない」となっていますが、委員総数23名中、本日の出席委員16名ですので本協議会は成立しております。以上でございます。

会 長 それでは、議事に入ります。なお、当協議会につきましては、水戸市附属機関の会議の公開に関する規程により、公開といたします。また、同規程により、会議録を作成することになっており、附属機関が指定する者2名以上の署名を得ることになっております。署名人2名を選びたいと思いますが、いかがいたしましょうか。

委 員 議長一任

会 長 議長一任との声がございましたので、議長が指名することとします。____委員と____委員をお願いいたします。よろしくをお願いいたします。それでは、協議事項「水戸市農業基本計画（第4次）」について、に入ります。まず、「（1）策定・審議の経過について」事務局から説明願います。

（資料に基づき説明）

会 長 ただ今事務局より説明がありましたとおり、農業基本計画（第4次）については、意見公募手続きが終わり、意見は出ず、原案の修正もないとのこと。何か御意見はありますか。特に意見がなければ、「（2）答申案について」に移ります。昨年9月に諮問を受けた農業基本計画の策定については、予定では本日が会議の最後の日程となりますので、当協議会としての答申をまとめたいと思います。答申の案については、これまでの審議内容を踏まえ、事務局に作成を指示してありますので、事務局より説明願います。

（資料に基づき説明）

会 長 説明がありましたとおり、計画の本文については、意見公募を行った案を答申することとし、それに要望を付した形となっています。この案について、御意見はありますか。

委 員 TPPがこれからの農業の問題を左右すると思います。安い農畜産物が入ってくれば、日本の農業経営は厳しくなります。その場合に、できるだけ手厚い補助金の支援等の一文が入っていたほうが良いと思います。

会 長 事務局で回答できることがあれば、よろしく願います。

執行機関 TPPについては、協定が成立すると、関税が下げられる事態になります。そのような場合に、水戸市の農業を支える必要があると考えています。御発言のとおり、「支援」

という言葉を追加してみてもどうかと思います。

会 長 TPPについては、どう影響が出るのか注視して、スピード感を持って対応するのが最善だと思っています。補助金については、この協議会だけでなく、国等の行政が関わることになりますので、また皆様に御参集いただいて、御意見を頂ければと思います。事務局から出ましたとおり、「支援」という言葉を追加できればと思いますがよろしいでしょうか。

委 員 はい。ありがとうございました。

会 長 他に御意見はありますか。

委 員 TPPの影響で、畜産とお米が打撃を受けます。特にお米は過剰で、消費されていないので、農業者は、危機感を持つ必要があります。また前回の会議で、国内だけでなく、海外に目を向けてほしいとお話しさせていただきましたが、計画の中で表現されているのか、お聞きしたいと思います。

執行機関 計画の本文の主な取組の「農畜産物の輸出促進」で記載しています。鏡文書では特出しをしております。

委 員 はい。ありがとうございました。

会 長 他に御意見はありますか。

委 員 農協改革で、中央が解体されると、各地域農協が頑張るしかないと思います。各地域農協では、お米について、海外に向けてのブランドを作って、今後輸出していくような考えがあるのか、お聞きしたいと思います。

会 長 その件については、輸出を増やしていく考えはありますが、その前に学校給食や福祉施設等の地元率が伸びておりません。学校給食については、約40パーセントであり、美味しいお米をそのような場所で使っていただいて、地元率を50パーセントまで上げると、新たな需要が生まれます。飼料用米については、生産される方が今の倍になっても、使っていただけるような場所を確保できるように進めています。

委 員 今の説明で良く分かりました。

会 長 他に御意見はありますか。

委員 重要な問題のTPPの結論が、4月に出ようとしている時に、改革中のJA全中から反対の声が聞こえてこないです。今が大事な時で、農協の一員として頑張りたいと思いますので、よろしくお願いします。

会長 全く同感です。他に御意見はありますか。

委員 今まで様々な意見がありましたが、水戸の農業をどのようにまとめていくのか、農政推進協議会の各委員の意見の統一をしたほうが良いと思います。

会長 これからの農業を考えるとということで、今回答申という形で取りまとめをしました。計画は、これからの方針を書いたものですが、具体策については、それぞれの立場で努力して連携を図っていく必要があります、学校等と連携しながら、新規就農者の育成・確保に努めているところです。

委員 参考までに、新規就農者に150万の支払いをしています。状況について、お聞きしたいと思います。

執行機関 青年就農給付金は、年間で国から150万頂いている制度ですが、12名の方が受給して活動されています。

委員 6年目に廃業する場合もあると思いますが。

執行機関 今のところ一人も廃業する方もなく、活動されている状況です。

会長 それでは、一度戻りまして、先ほどお示ししました答申案ですが、皆様の御意見を反映した形で答申したいと思いますので、他に御意見があれば、よろしくお願いします。

委員 現在、水質の汚濁が高まっています。大部分は家庭からの残排水ですが、半分以上が農業用排水という統計も出ています。過剰に田畑に堆肥を上げていることが、地下を通じて水質汚濁の原因になりかねないという専門家の意見もあります。計画の中の33ページの「環境保全型農業の推進」に、主な取組の記載があったので良いのですが、過剰な堆肥について、農業者の立場の方に、御意見をお聞きしたいと思います。

委員 農業者の立場から発言させていただきます。堆肥について、過剰に使うと作物ができないので、過剰には使っていないと思います。農薬等についても、使用量が説明書に書いてあり、過剰に使うと作物が傷むので、同様だと思います。

委員 できれば、会長の御意見もお聞きしたいと思います。

会 長 肥料については、土壌診断をやるのが一般的になってきており、作付け前にどのような肥料が畑に残っているのか調査して、必要な分だけ使用しています。それは低コストにもなるので、無駄なことはやらないようになっていきます。他に御意見はありますか。なければ、そろそろまとめたいと思いますが、別冊を見てもらえると細かなところまで網羅していると思います。また、鏡文書の3番にあるとおり、農業政策の動向により、進行管理と状況に応じた計画の変更ということで、また皆様をお願いをする形を取っていますが、原案のままでもよろしいでしょうか。御意見があれば、よろしくお願いいたします。

執行機関 先ほどの御意見を受けまして、鏡文書の3番についての最後の行ですが、「計画の進行管理に努め、状況に応じた計画の変更と支援を行うこと」ということで、「支援」という言葉を追加したいと思います。

会 長 御意見を踏まえ、鏡文書の3番について、「TPPなど農業を取り巻く情勢の変化や、国の農業政策の動向を注視し、定期的な計画の進行管理に努め、状況に応じた計画の変更と支援を行うこと」ということで、「支援」を盛り込みたいと思います。そのような形でよろしければ、本日付けで、市長宛てに答申したいと思いますが、御異議ありませんか。

委 員 異議なし

会 長 それでは、修正した文案で、市長に答申することといたします。その他といたしまして、事務局より何かありますか。

執行機関 特にありません。

会 長 委員の皆様から、何かありますか。

委 員 学校給食で、現場で調理しているのは、何校ありますか。

執行機関 数字については、資料がなくて、すぐに回答ができなくて申し訳ありません。

会 長 他に御意見はありますか。

委 員 食育について、地産地消で地元の野菜を使って、子供たちに食事をしてもらいたいと推進しています。農家側は、安心安全なものを提供したいと考えていますが、予算の制約があるので、地産地消が進んでいかない現状があります。

会 長 同じ量でも少し曲がっているような食材を使って、安くする取組をしています。しかし、給食調理員の手間がかかるという問題もあります。東北では、地元率が約60パーセントあるので、まだ地元の食材を使う余地はあります。それでは、様々な御意見を頂きましたが、計画に盛り込ませていただいて、今後状況に応じて、また皆様に御意見を頂きたいと思います。9月から4回にわたり、慎重な審議ありがとうございました。以上をもちまして、議長の席を降ろさせていただきます。

執行機関 ここで、産業経済部長よりお礼の御挨拶を申し上げます。

(お礼の挨拶)

執行機関 先ほど回答できなかった学校給食の件ですが、小学校については、単独調理が29校、共同調理が4校で、中学校については、単独調理が4校、共同調理が11校です。

執行機関 以上をもちまして、水戸市農政推進協議会を閉じさせていただきます。ありがとうございました。